

【情報提供資料】

国土交通省東北地方整備局
青森河川国道事務所

参考資料－ 2

岩木川の減災に係る取組状況について

「岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会」の経緯

- ・平成27年12月10日に社会資本整備審議会長から国土交通大臣に対し、「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申され、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、**平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う**こととした。
- ・各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置し、減災のための目標を共有し、以下のハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進するものであり、岩木川においても平成28年8月に**「岩木川の減災に係る取組方針」**を策定した。



第2回 減災対策協議会開催状況
(平成28年8月29日)

	開催年月日	内容
第1回協議会	平成28年5月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・岩木川水系の直轄管理区間を対象として減災対策協議会を設立 ・減災のための目標の共有
第2回協議会	平成28年8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・岩木川流域の県管理区間を追加して、「岩木川の減災に係る取組方針」を策定
第3回協議会	平成29年5月31日（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況の確認及び実施目標のフォローアップを予定

構成機関：青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、藤崎町、板柳町、鶴田町、中泊町、大鰐町、田舎館村、西目屋村、青森地方気象台、青森県県土整備部、青森県危機管理局、青森河川国道事務所、岩木川ダム統合管理事務所

岩木川の主要な洪水

昭和33年9月豪雨

平成52年8月豪雨

平成25年9月豪雨

岩木川の洪水発生時における課題

- ・ 広範囲かつ長期間にわたる浸水による家屋浸水や交通網の寸断
- ・ 夜間の急激な水位上昇時における情報伝達のあり方
- ・ 効果的な水防活動のあり方及び住民の水害に対する防災意識の低下

対応

「避難する・時間を稼ぐ・備える」ことにより「氾濫被害の最小化」を目指すことを目標として、平成32年度までに構成機関が行う減災の取組方針を平成28年8月29日に策定。

平成32年度（概ね5年）を目処に実施する取組内容

1)ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 危機管理型ハード対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2)ソフト対策の主な取組

①住民の主体的で安全な避難行動を促すリスクコミュニケーション・地域を越えた避難誘導

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表
- ・各自治体の枠を超えた避難を検討し広域避難計画を策定
- ・市町村の枠を超えた広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
- ・わかりやすい洪水予報文への改良

■避難勧告等に着目したタイムライン等の作成

- ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及びブラッシュアップ
- ・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
- ・夜間時の急激な水位上昇を想定した避難勧告・指示等のタイミングに関するルール作り・検証

②発災時に人命と財産を守る水防活動及び排水活動

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・夜間時の急激な水位上昇を想定した水防団等への連絡体制の検討・構築、水防団同士の連絡体制の確保
- ・水防団や地域住民が参加する「洪水に対しリスクが高い区間」の共同点検
- ・関係機関が連携した水防訓練の実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・協定業者等による水防実施体制の検討・構築

③水害に関する知識の向上と心構えの醸成

■防災教育や防災知識の普及

- ・水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
- ・水防災に関する説明会等の開催
- ・教員を対象とした講習会の実施
- ・小・中学生を対象とした防災教育の実施
- ・出前講座等を活用した講習会の実施
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

■緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・排水機場・樋門・水門等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画(案)を作成
- ・緊急排水計画(案)に基づく排水訓練の実施

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森市 平成28年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成28年度の主な実施内容】

青森河川国道事務所による

- ・ 岩木川直轄管理区間想定最大規模（L2）降雨に伴う浸水想定区域及び浸水継続時間
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸侵食）

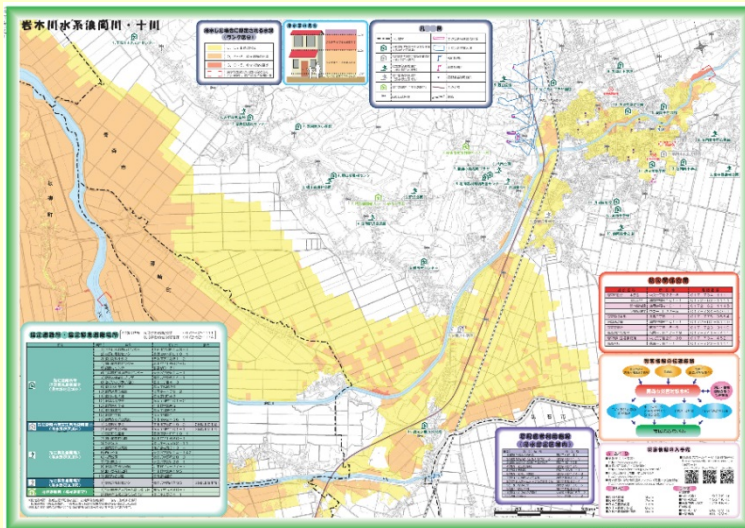
の公表を受け、「岩木川水系浪岡川・十川」区域の

- ・ 指定避難所・指定緊急避難場所・避難判断水位
- ・ 土砂災害警戒区域等・要配慮者利用施設

などを見直し、新たに「青森市洪水ハザードマップ」を作成。

※平成29年5月中旬に、浸水想定区域に含まれる町会のすべての世帯に配布予定

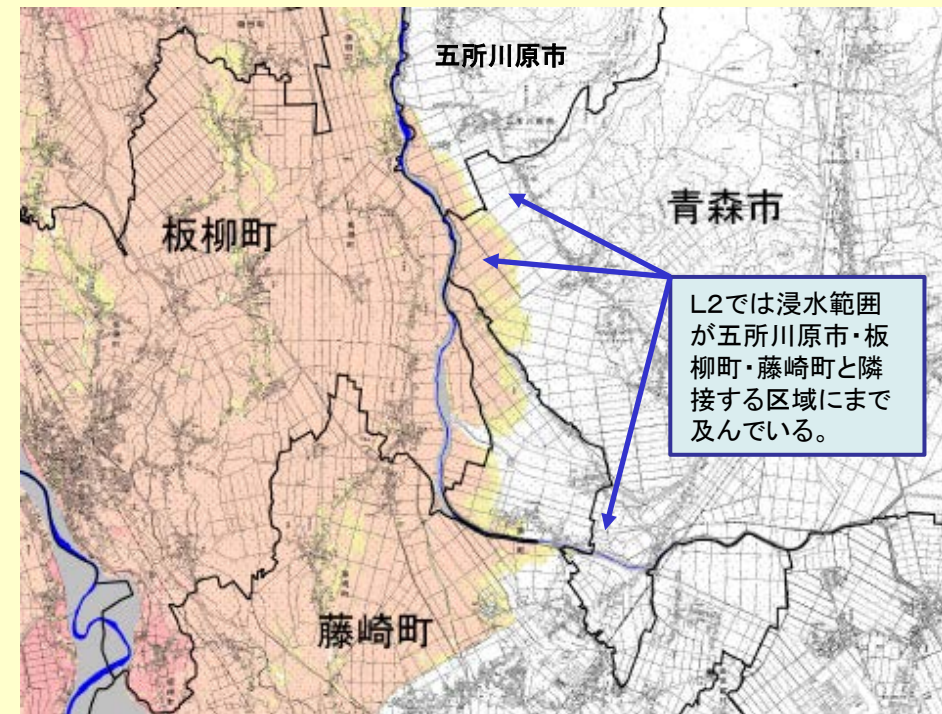
青森市洪水ハザードマップ



【平成29年度の主な取組み予定】

- ・ 新たな「青森市洪水ハザードマップ」による要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
※避難計画未作成施設に対する作成・訓練実施に向けたフォローアップ開始
- ・ 各自治体の枠を超えた広域避難のため、近隣市町村との情報交換を開始

岩木川水系岩木川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 弘前市 平成28年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成28年度の主な実施内容】

- ・ 防災無線の訓練
- ・ 水防資機材の購入
- ・ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充（指定緊急避難場所看板の設置）
- ・ 弘前市総合防災訓練で福祉避難所の開設訓練実施



指定緊急避難場所の看板設置
(5箇所)

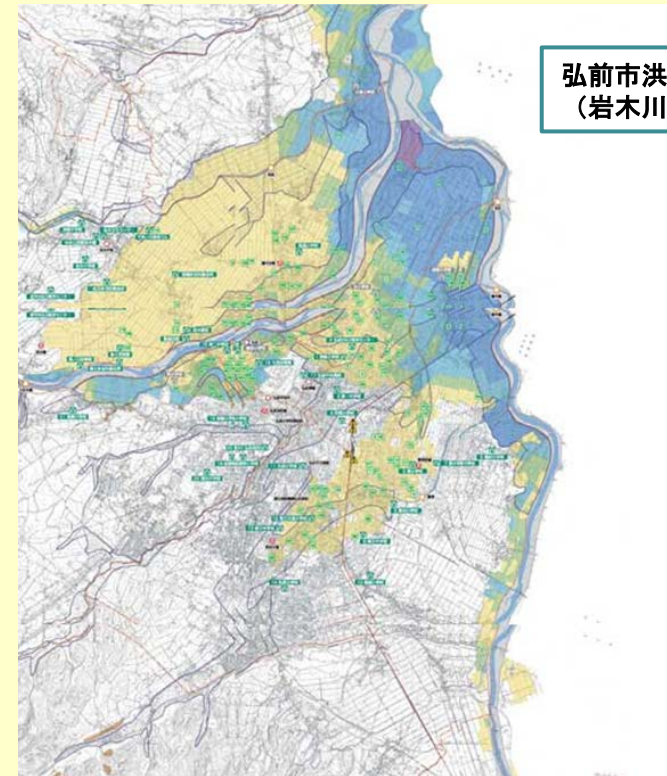
福祉避難所の開設訓練
(H28市総合防災訓練)



- ・ 台風への対応に際して、タイムラインに基づいて実施
- ・ 夜間含む携帯電話による連絡体制の構築
- ・ 情報共有のため無線機を整備（消防団）
- ・ 小中学生を対象とした防災教育の実施
- ・ 出前講座の実施

【平成29年度の主な取組予定】

- ・ 平成28年度の実施内容については、今年度も継続実施。
- ・ 市町村の枠を超えた広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・ 排水機場・樋門・水門等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画（案）の検討
- ・ 緊急排水計画（案）に基づく排水訓練への参加



弘前市洪水ハザードマップ
(岩木川右岸)